



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

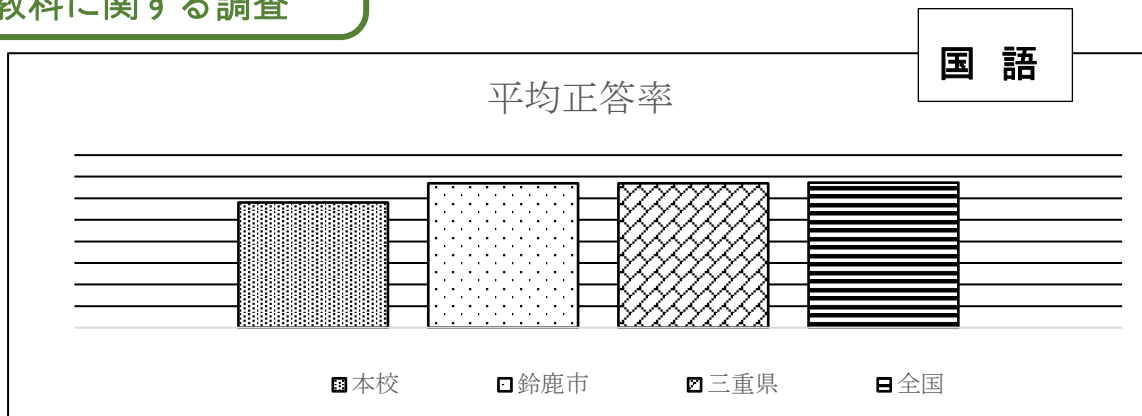
No. 11

令和5年9月27日

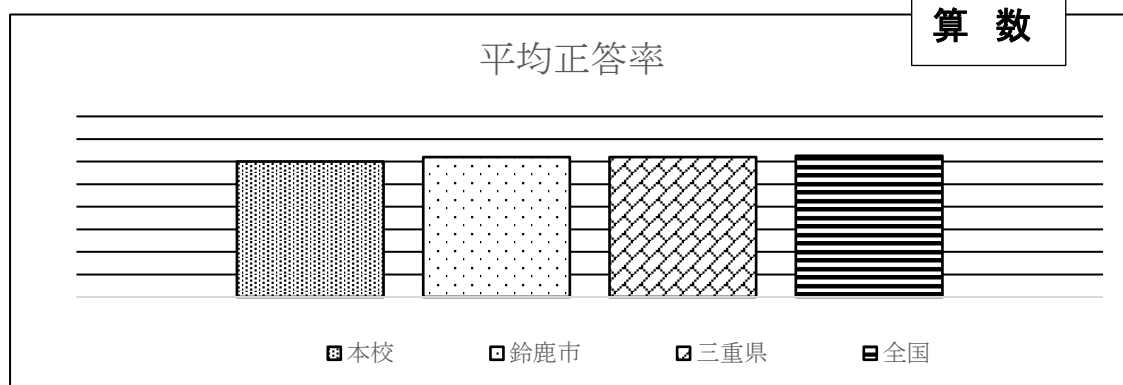
令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に6年生を対象として、令和5年度の全国学力・学習状況調査を実施いたしました。その結果及び結果を踏まえた今後の取組についてお知らせします。

教科に関する調査



国語は無回答率が低く、最後まで粘り強く問題に取り組むことができました。全体的な正答率は、全国値より低い結果となっています。正答率の傾向を見ると、「知識及び技能」に関する問題が「思考力・判断力・表現力」に関する問題よりも正答率が低く、言語の特徴や使い方に関する事項に課題がみられました。特に、漢字や敬語の使い方が苦手で、基礎的・基本的な学力の向上が課題となります。「文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる問題」や、「話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる問題」は、ある程度できていました。



算数は無回答率が国語より高く、領域により偏りが見られました。特に「図形」と「数と計算」の無回答率が高い結果となっています。算数の正答率は全国値より少し低く、特に「知識及び技能」に課題がありました。領域としては、「数と計算（加法と乗法の混合した整数の計算）」「図形（三角形の底辺と面積の関係、正方形の性質）」、「変化と関係（百分率で表された割合）」「データの活用（複数の棒グラフを組み合わせたグラフの読み）」に課題があり、どれも基礎的・基本的な学力の定着が必要だと考えられます。

「思考力・判断力・表現力」については全国値とほとんど差がなく、選択式、短答式、記述式による正答率の偏りもありませんでした。

知識及び技能とは・・・思考力や主体性の土台となる力。既習の学習内容を理解する力。
 思考力、判断力、表現力とは・・・問題を解決したり知識を活用したりする力。既習の学習で理解していることやできることを活用する力。

調査結果を踏まえた取組

- ・文章のキーワードを見つれたり、文の構成を読み取ったりすることができるように、ワークシート（市教育委員会提供）を積極的に活用する。特に、ワークシートの解説や直しを確実にし、過去のワークシートをもう一度行うなど、各学年の実態に合わせて文章力の基礎や読み取りの力を育む。
- ・漢字を学習する際に、熟語や例文もしっかりと扱うことで実用的な知識の習得を行う。
- ・学校裁量の時間や家庭学習において、基礎・基本的な力の向上をめざした課題を行う。
- ・校内研修や放課後に教師の学習会を実施し、教員同士で教材や発問について学びあうなど、指導力の向上に努める。

児童質問紙調査

◎、○全国より高い。 △、×全国より低い。

家庭学習	本校と全国との差
学校の授業時間以外に、普段(平日)、1日あたり1時間以上、勉強をしている。(塾の時間を含む)	×
学校の授業時間以外に、普段(土日)、1日あたり1時間以上、勉強をしている。(塾の時間を含む)	×
読書	本校と全国との差
読書は好き。	◎
学校の授業時間以外に、普段(平日)、1日あたり10分以上、読書を行っている。(漫画・雑誌は除く)	◎
自己肯定感	本校と全国との差
自分にはよいところがあるとおもう。	×
将来の目標や夢を持っている。	△
人の役に立つ人間になりたいと思う。	○

家庭での学習時間は全国値と比較して少ない傾向にあり、特に土日は全国値との開きが大きくなっています。読書については、合川小学校の児童は、日ごろから本をたくさん読んでおり、読書が習慣づいています。自己肯定感の結果からは、自己肯定感は低いですが自己有用感が高いという結果がわかりました。

調査結果を踏まえた取組

- ・家庭学習は、量や質を見直したり、ICTを効果的に活用したりするなど、各学年に応じた適切な宿題の出し方を検討していきます。また、「自主学習の手引き」を作成し、児童へ配付して自主学習の定着を図ります。
- ・読書習慣は定着してきているため、今後も図書まつりや教師による読み聞かせ等を継続していきます。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校行事が従来の内容に戻ってきている中で、様々な行事を通して責任感ややりがいを持たせ、成功体験を積み重ねることで、自己肯定感を高めていきます。また、わかりやすい授業を実施し、児童の理解度を深めることで、学習における自己肯定感の向上もめざします。